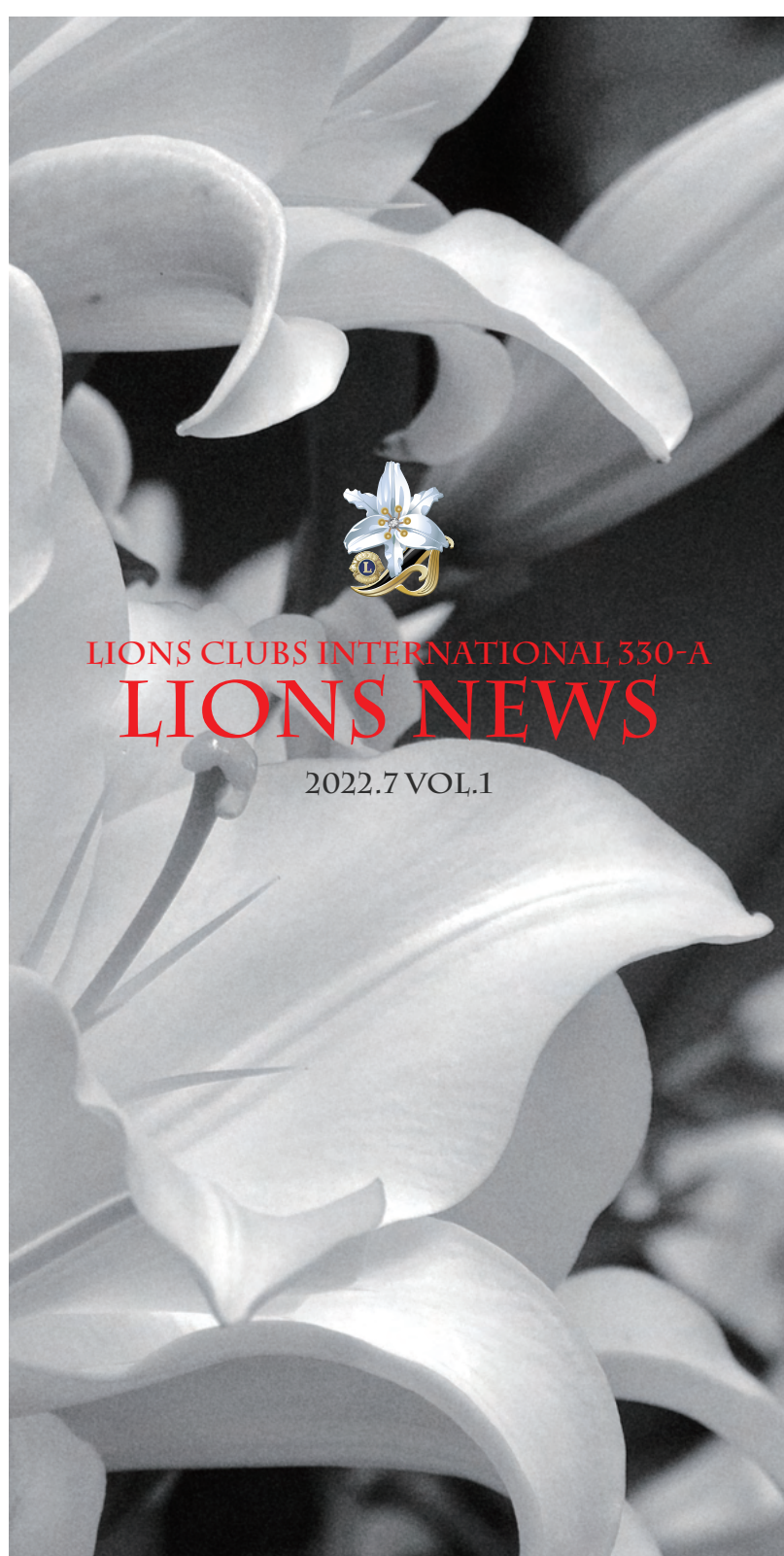




2年以上にわたる取組の気配が見えなかった新型コロナウイルス感染症拡大にも従ってようやく下火になり、中共がナチナールにおいては第2回キヤンペーン会議後の意欲を3年ぶりに開陳することができました。そこで改めて、観念活動の有無がオリエント活動の活性化に影響があることを再認識した次第です。

中共がナチナールにおける会員増強と減災を重点にした活動は、大に成果を上げることで、大賞賞は1件。この賞状に、中共がナチナールをはじめとするキヤンペーン幹事団の皆様に、1年間の活動、労りに感謝申し上げます。

さて、増強活動は、キヤンペーンがクラブを支援する活動をモットーとするともに、会員数、LCIFへの

献金額等を含めて日本のトップになるべく、花の330-A地区の復活を目指す。

増田が抱く目標は、上記目的達成のために次の3つをポイントに挙げる。1つ目は、将来の地区がバナナとして地区をよりよく人材育成を目的とする「次世代リーダー養成塾」を促進して研修の充実。2つ目は、マスメディア、SNS等を活用した意識啓蒙の知名度の向上。3つ目は、コーディネーターを中心とした地区運営をはじめとする組織改革である。

どうかこのチャレンジ精神をご理解いただき、1年間ご支援、ご協力を賜りますよううしお願いいたします。

キャビネット 幹事 佐久間洋一

増田ガバナー インタビュー



2年7月4日 聞き手：L 藤田結子



1. 藤田 ライオンズクラブ入会のきっかけをお聞かせください。

増田ガバナー 同じ東京田無 LC の塩月元ガバナーの誘いで入会しました。2011 年のことです。そして、入会 1 年目に塩月元ガバナーの第 2 副地区ガバナー選挙があり、会計責任者になりました。それは、最初の幸運な出来事でしたね。

増田ガバナ 当時は献血活動や文化活動をただ言われるままにやっていました。

L 藤田 ガバナーになろうと思ったきっかけは何でしょうか？

増田ガバナー 入会して4年目に塩月キャビネットの事務局長を務めていた時に、ガバナーの仕事が本当に好きで、

がきっかけです。塩月キャビネットの事務局長を経験する中で仲間たちが切磋琢磨して、後の伊賀ガバナー、中井ガバナーを輩出しました。それがガバナーになろうと思った

目接のぎっかけですね。

藤田 身近で見ていてガバナーはどのような存在でしたか？
増田ガバナー ライオンズ活動もやりながら、仕事もしっかりやられてたので、私にもできるかもしれないと思いました。ただし、現実とは、その当時のガバナーと今のガバナーは違うかもしれないと思います。この2年間の勉強量がとても多かったです。何を勉強してきたかというと、リーダーとはどうあるべきか、会社経営者としてどうあるべきか、を勉強してきました。

Ⅱ 藤田 次に今期の方針をお聞かせください。

増田ガバナー 現状、日本全国 35 地区（8 複合地区）ありますが、330-A 地区は花の 330-A 地区と呼ばれていた時期もありますが、実際には会員数や LCIF 献金額などで 335-B（大阪府和歌山県）、334-A（愛知県）の後塵を拝しています。もう一度花の 330-A 地区を目指したい。そのために方針を作りました。

増田 地方の内容をご説明頂けますでしょうか。

増田 地方のキャビネットは各クラブをえるのであって、決してキャビネット主導ではないです。そこで、まず組織を少し変えました。ガバナーから直接各委員会を中心、間にコーディネーターを入れ、コーディネーターを中心に各年の組織を動かしていくように変えました。そして、目標として1年持つぐらいに、キャビネットとしての5つの方針を掲げました。

- ①「次世代リーダー育成塾」の創設
- ② Zoomによる専門家セミナーの開催
- ③ 一般向けPRの強化
- ④ GMA 推進による会員増強
- ⑤ 定期的な会議の実施

L 藤田 では具体的に決まっていることがあれば教えてください。

増田ガバナー まず、次世代リーダー育成は将来の幹部候補・ガバナー候補者を育てるために創設しました。ゾーンチャーパーソン未経験者を総勢 20 名募集しています。Zoom による専門家セミナーはライオンズクラブには専門家が多数在籍しているので Zoom による講演して頂きます。一般向け PR の強化。今までは、メンバー向けの PR



はしっかりしているが、残念ながら一般の方々向けの宣伝が足りていないので、強化します。組織的にも1委員会だったところを3委員会に増やし、メディア対策とSNS対策を実施していきます。特に宣伝は日本放送のラジオ放送で宣伝することを

1. 藤田 2年前に ZC にレベル差がありすぎるという話もありましたが、現在はどのように感じていますか。

増田ガバナー ZC に関しては ZC エレクトや第 2ZC があっていいのではと思っています。そのためには会長経験者以上の方々を中心とした教育システムを作れば良いと思っています。

藤田 会員増強に関して、若いメンバーの増強についてはどのように取り組んでいかれますか。

増田ガバナー これからは 20 代 30 代の Y 世代、或いは将来の Z 世代をメンバーとして取り入れていく必要があるのではないかと。この世代はデジタルが強いのでそれに向けて

ライオンスクラブも変革するときではないかと思います。そのために今期は会員増強委員長に 40 歳ぐらいの人になってもらい若い考え方を取り入れていきたいと思っています。

し 藤田 ガバナーズカラーの黒はどのようにして決められましたか。

増田ガバナ まずバッジを作るために花の王様であるカサ
 ブランカをモチーフにしました。カサブランカは花の 330-A
 に相応しい花だと思ひます。そして、カサブランカは真っ白

でしたので、白が映える反対色の黒をあてました。

L 藤田 ガバナーは年次大会の入場曲でご自身の歌を使っていたが、元々歌が得意なのでしょいか。

増田ガバナー 実は、私は10年前まで音痴でした。塩月

元ガバナークロ選挙を受けた時にスピーチなどがあったの
でボイストレーニングを受けました。その後、私を、作曲
家の先生に紹介してもらって専門的に習いました。それから
カラオケ大会に出るようになって最後は優勝することが
できました。昔から歌が上手な手くならなかったが、それ
でもやれば何でもできるということが分かりました。それ
以来歌が好きになりました。

増田ガバナナー MyLClに入るとライオンズクラブの教育システムが誰でも見られて充実しているところです。これは本当に素晴らしいです。特にリーダーシップの教育が充実しています。是非、若い世代の方々に入って頂き、これからライオンズクラブはどうあるべきかを一緒に考えて頂きたい。そうすればこれからライオンズクラブはどんどん変化していくと思います。

増田ガバナー 今期の私のガバナーズスローガンは“頑張れ花の 330-A”、そしてガバナーズテーマは“未来を夢見ながら We Serve” です。花の 330-A に向かって発進できる 1 年にしていきましょう。

